

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	17.石川県
市区町村名	17000石川県
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
17205珠洲市													
17206加賀市													
17210白山市													
17212野々市市													
17407中能登町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	コロナ禍の影響で学校に外部の人間が制限され、授業サポート等が展開できず数年経過し、その間に教職員の人事異動等もあったことから学校と地域のボランティアとの繋がりが疎遠になり、地域に根差した多様な学習環境の機会の提供が困難になっている。また、現存の見守りボランティアなどの高齢化がすすみ、ボランティアの新規開拓が課題となっている。	昨年度は学校運営協議会で個別で見守りボランティアの参加呼びかけを実施した。また、教育委員会で令和6年1月1日に学校協働活動人材サポートバンク制度を施行し、登録呼びかけを行う予定であったが地震により中断した。	・学校運営協議会や地域学校協働活動員を通じて授業サポートを展開し、新たに人材発掘を実施する。 ・自治会や各種団体に地域学校協働活動サポートバンクへの登録を呼びかけを実施する。 ・教育委員会内に配置した地域学校協働活動推進員が登録ボランティア等に授業における教員補助、体験活動などの連絡調整を担い、教職員の負担の軽減を行う。	学校・家庭・地域の協働体制を構築することにより、地域と繋がった質の高い授業や学習環境を実現するとともに、子どもたちと地域の繋がりを深めることで、地域の活性化を図る。	地域と連携した授業サポート数	61	件	80	93件	・学校運営協議会で登下校時の安全や授業サポートによる地域との連携などの課題に対し、実際に解決のために委員がアクションを行うことにより、地域住民が学校運営の当事者として参加するという意識付けができた。 ・地域学校協働活動推進員による授業サポート等の手配により、地域参加型の授業にかかる学校側の事務の軽減が見られた。 ・協議会の議事録、授業サポートなどの状況をコミュニティ・スクールだよりや町生涯学習イベントでパネル発表などを行うことで活動内容を住民対象に周知することができた。 ・今後は地震の影響により授業サポートを担える地域のコミュニティ自体の繋がりが弱くなっている。児童、生徒の取り組みに関わることで、地域のコミュニティが活性化できるような取り組みを行う。	https://www.town.nakanoto.ishikawa.jp/soshiki/shougaigakushu/3/community_school/7508.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。